



The Beetle

クイックユーザーガイド

初めに本書をお読みください



The Beetle に関する資料

本書



クイックユーザーガイド

基本的な運転方法、装備の使用方法などをわかりやすく説明しています。

ご使用にあたっての注意、警告に関する内容は、「取扱説明書」をお読みください。

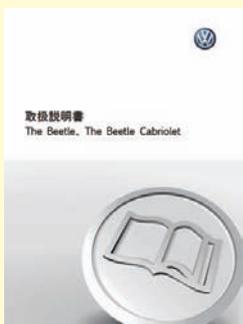
モデル、グレード、オプションなどにより、装備が異なる場合があります。

QR コードについて

本書内で QR コードが表示されている機能は、動画で機能の説明を確認することができます。

QR コード対応の携帯電話から QR コードを読み取ると、各機能の動画による説明が閲覧できます。

動画の閲覧には別途、通信料が発生します。パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、パケット通信料が高額となりますので予めご注意ください。



取扱説明書

装備の詳細な使い方や、使用上の注意などについて記載しています。

本書と合わせて必ずお読みください。

The Beetle

クイックユーザーガイド

目次

運転の前に

運 転

便利な機能

クイックユーザーガイド 目次

目次

外観	4
内装	8

1. 運転の前に 12

運転準備	12
リモコンキー	12
スマートエントリー&スタートシステム “Keyless Access”	13
ドア	14
シートの調整	15
センターアームレストの調整	17
ステアリングホイールの調整	18
ミラーの調整	19
シートベルト	22

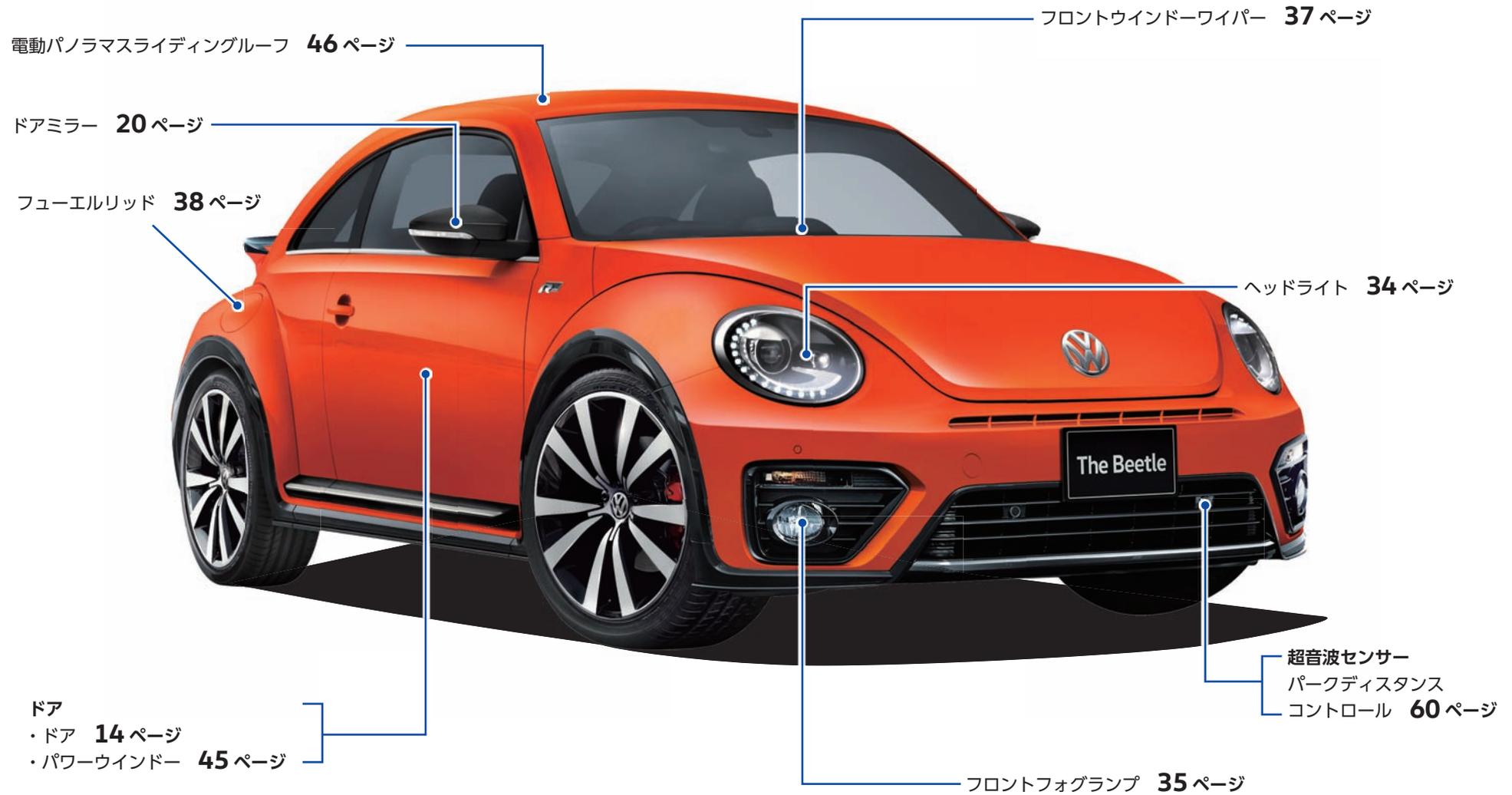
2. 運転 24

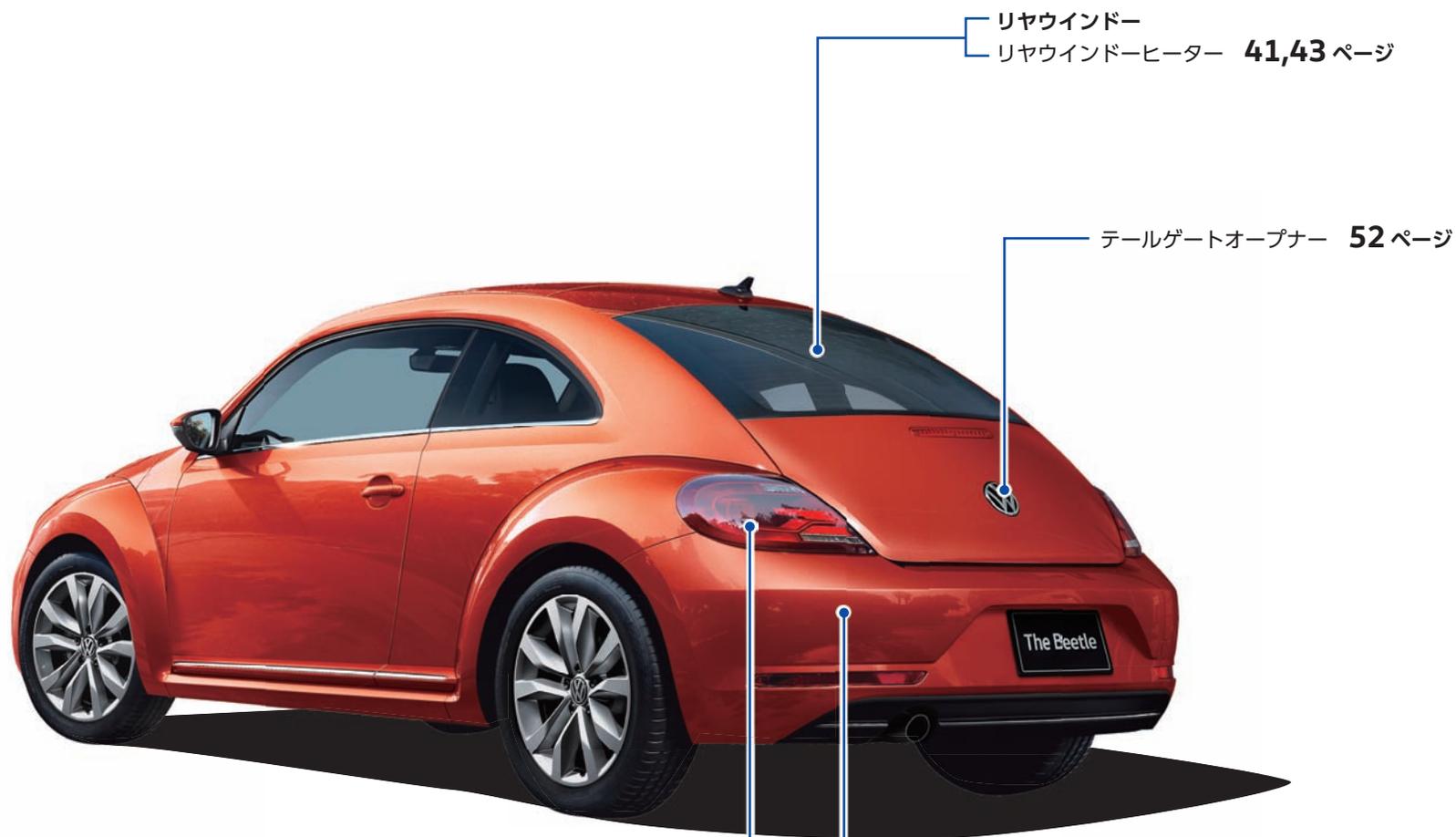
運転する	24
コンビネーションメーター	24
警告灯および表示灯	26
マルチファンクションインジケーター	28
エンジンの始動・停止	30
シフト操作	31
パーキングブレーキ	32
Start/Stop システム	33
ライト	34
方向指示器	36
非常点滅表示灯	36
ウインドーワイパー、ウォッシャー	37
燃料の給油	38

3. 便利な機能 40

室内装備	40
マニュアルエアコンディショナー	40
フルオートエアコンディショナー	42
シートヒーター	44
パワーウインドー	45
電動パノラマスライディングルーフ	46
チャイルドシート	47
エアバッグ	48
ルームランプ、リーディングランプ	49
12V ソケット	50
アディショナルインストルメントパネル (3 連メーター)	51
荷物の積載	52
ラゲージルーム	52
運転支援	54
クルーズコントロールシステム “CCS”	54
ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”	56
ESC (エレクトロニック・スタビリティ・コントロール)	58
タイヤモニタリングシステム	59
パークディスタンスコントロール	60
ブラインドスポットディテクション (後方死角検知機能)	62
リヤトラフィックアラート (後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能)	64

外観





リヤウインドー
リヤウインドーヒーター **41,43 ページ**

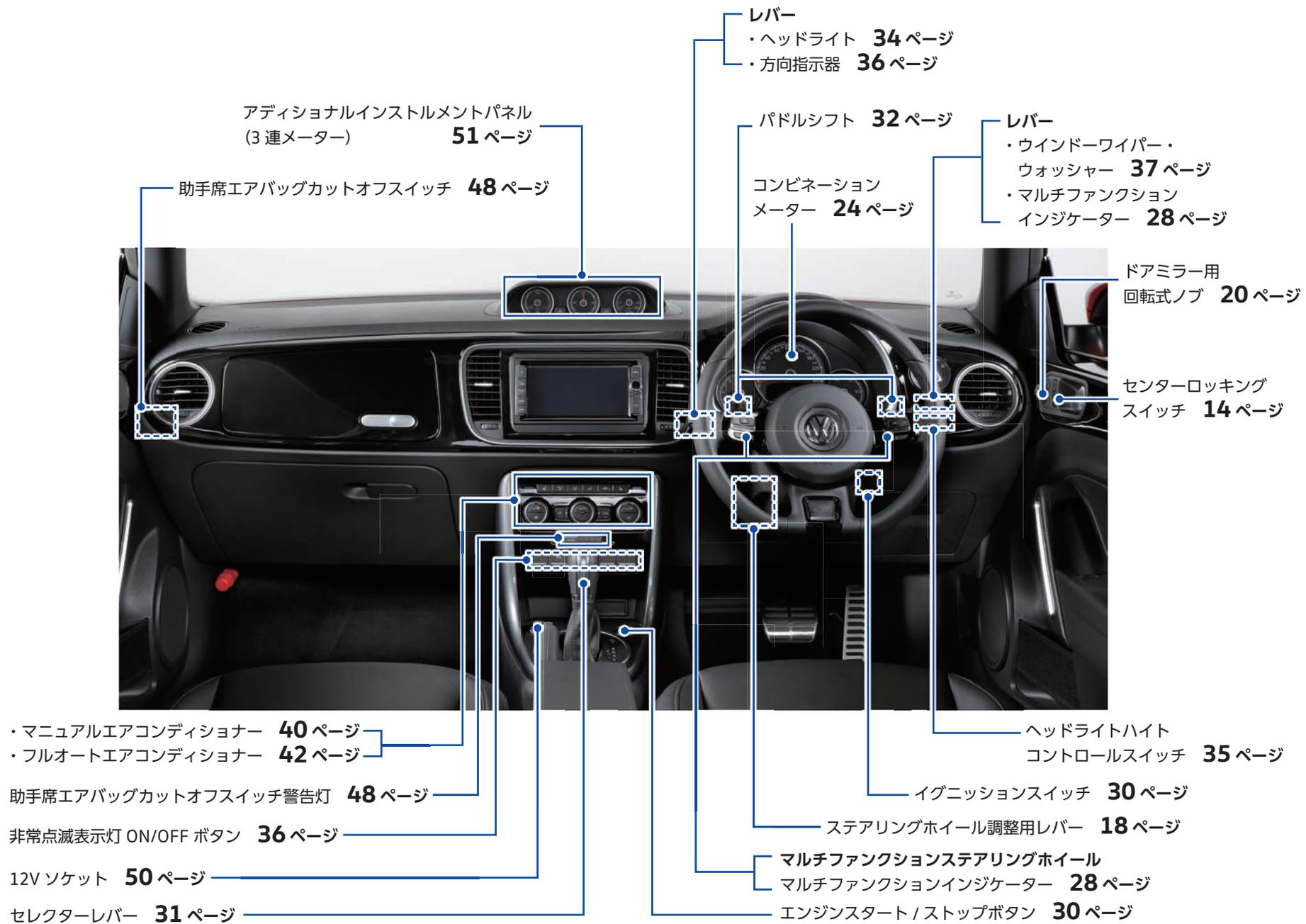
テールゲートオープナー **52 ページ**

テールライト
34 ページ

超音波センサー
・パークディスタンスコントロール **60 ページ**

レーダーセンサー
・ブラインドスポットディテクション
(後方死角検知機能) **62 ページ**
・リヤトラフィックアラート
(後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能) **64 ページ**

内装



ルームランプ、リーディングランプスイッチ
49 ページ



ルームミラー **19 ページ**

電動パノラマスライディングルーフスイッチ **46 ページ**

シートベルト **22 ページ**

フロントシート

- ・マニュアルシート **15 ページ**
- ・ヘッドレスト **16 ページ**



リヤシート

- ・分割可倒式リヤシート **53 ページ**
- ・ヘッドレスト **16 ページ**
- ・ISOFIX
チャイルドシート **47 ページ**

パワーウィンドースイッチ **45 ページ**

ハンドブレーキレバー **32 ページ**

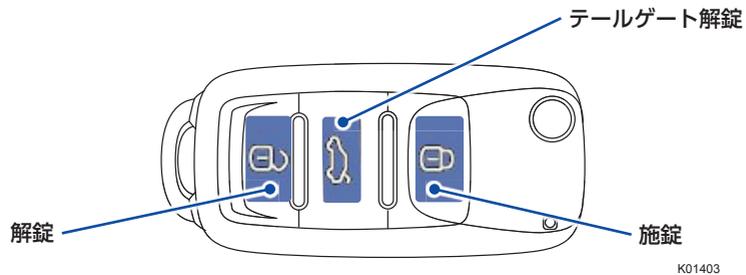
フロントセンターアームレスト **17 ページ**

運転の前に

運転準備

リモコンキー

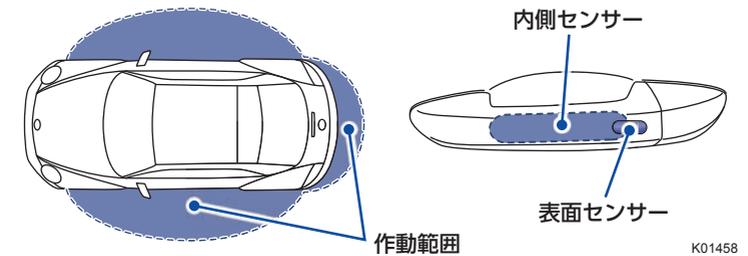
リモコンキーを使って、車から離れたところからドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



- 施錠ボタン…………… すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
 - 解錠ボタン…………… すべてのドアおよびテールゲートを解錠します。
 - テールゲート解錠ボタン… テールゲートのみ解錠します。
- 解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

スマートエントリー&スタートシステム “Keyless Access”

キーが作動範囲にあるとき、運転席または助手席ドアハンドルのセンサー部分に触れると、ドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



- 表面センサー…………… 触れると、全てのドアおよびテールゲートが施錠します。
- 内側センサー…………… 触れると、全てのドアおよびテールゲートが解錠します。

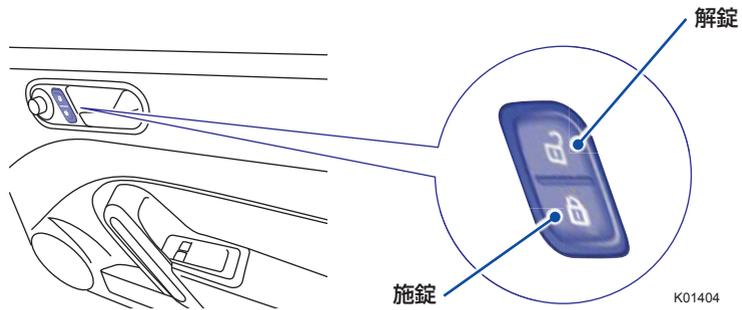
解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

キーを車内に残した状態でドアハンドル表面のセンサーに触れると、方向指示器が4回点滅し、ドアを施錠することができません。

ドア

センターロックング

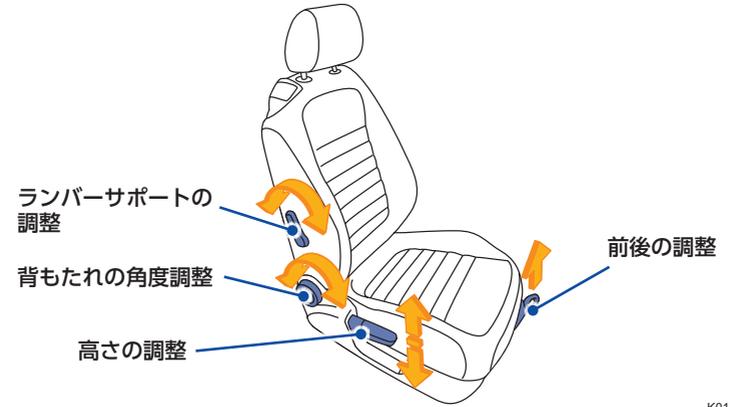
車内からは、運転席のドアについているセンターロックングスイッチで施錠、解錠ができます。



シートの調整

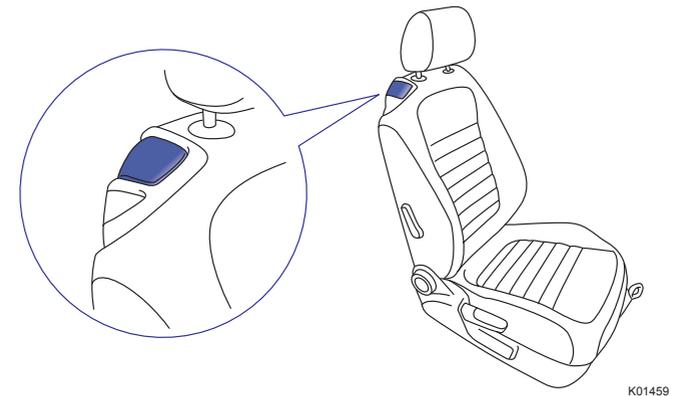
マニュアルシートの調整

シートの高さ、前後、背もたれの角度、ランバーサポートを調整することができます。



リヤシートへの乗り降り

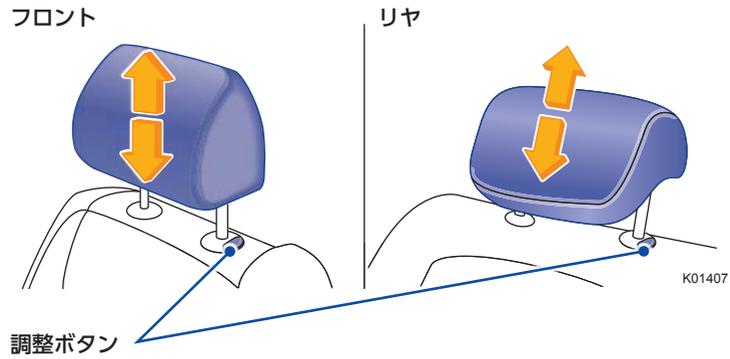
フロントシート上部のレバーを引き、背もたれを前方に倒してください。倒したままの背もたれを押し、シートを前方にスライドさせます。シートを戻す場合は、ロックするまでシートを後方にスライドさせ、背もたれを戻しロックさせます。



ヘッドレストの高さ調整

高さを調整することができます。

そのまま引き上げます。下げる場合は調整ボタンを押しながら、下げてください。



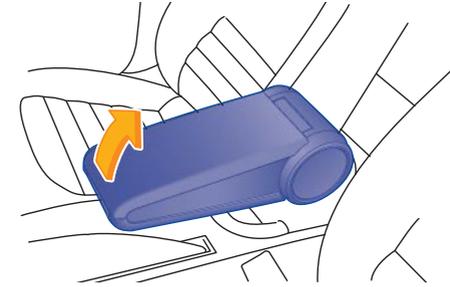
センターアームレストの調整

フロントセンターアームレスト

角度を調整することができます。

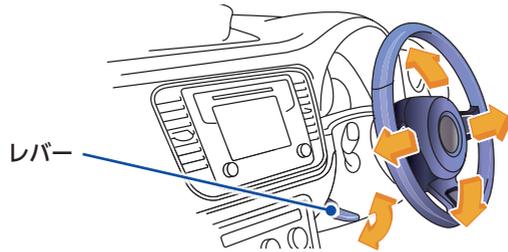
上げるときは、先端を持ち上げます。

下げるときは、いったん上まで引き上げてから下げます。



ステアリングホイールの調整

ステアリングホイールの高さ、前後位置を調整することができます。



K01409

操作 手順

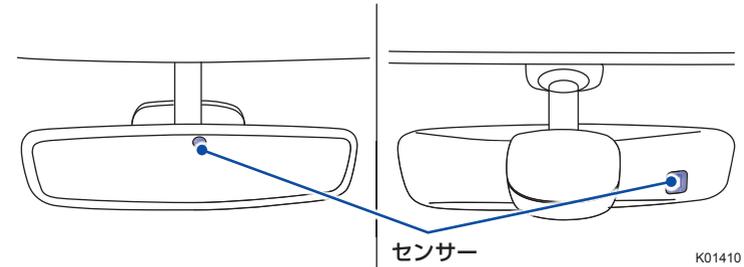
- 1 レバーを下げます。
- 2 ステアリングホイールを前後または上下に動かして、位置を調整します。
- 3 調整した位置を保持し、レバーを上げて固定します。

ミラーの調整

自動防眩ルームミラーの調整

センサーにより周囲の明るさを検知し、後続車のヘッドライトがまぶしいときは自動的に明るさを抑えます。

セレクターレバーが“R”の位置にある時は、自動防眩機能は作動しません。

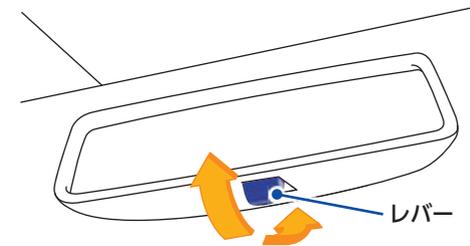


K01410

手動防眩ルームミラーの調整

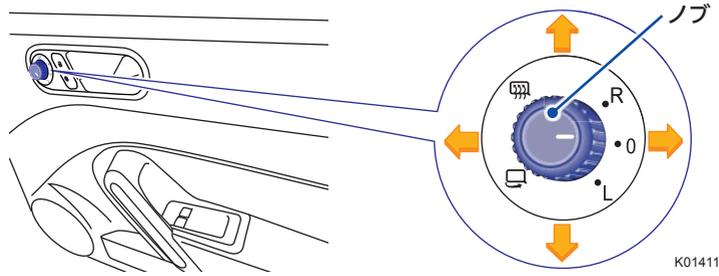
レバーをフロントウインドー側に倒した状態で、ミラーの基本位置を調整してください。

夜間の走行中、後方の車両のヘッドライトが眩しい場合、レバーを手前に引いてください。



ドアミラーの調整

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブで調整できます。

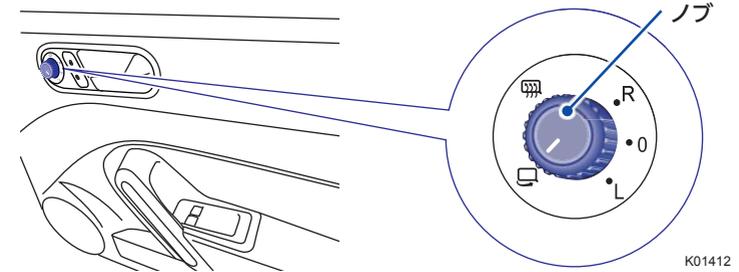


操作手順

- 1 ノブを回して、“R”（運転席側）または“L”（助手席側）に合わせます。
- 2 ノブを前後、上下に動かして、ドアミラーを調整します。
- 3 ドアミラーの角度を調整した後、ノブを回して、“0” に合わせます。

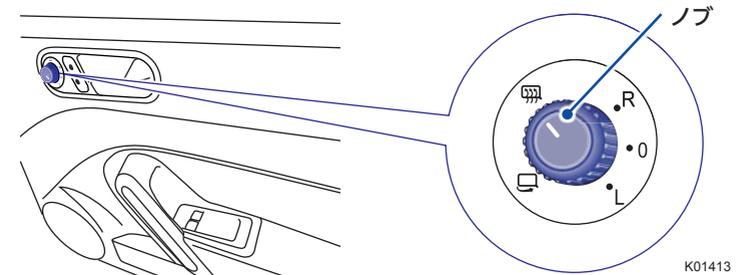
ドアミラーの格納

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを  に合わせると、自動的に格納されます。他の位置にすると復帰します。



ドアミラーヒーター

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを  に合わせると、ドアミラーヒーターが作動します。

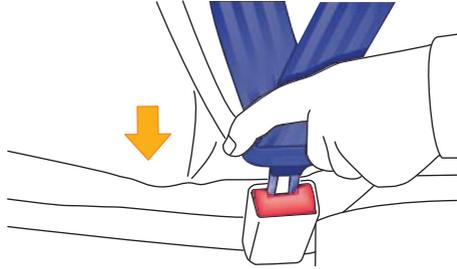


シートベルト

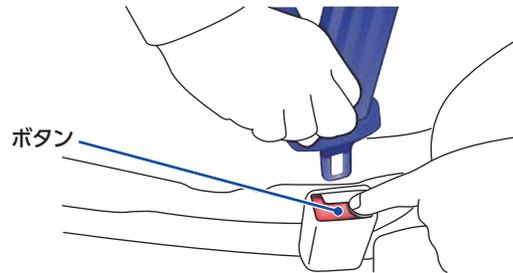
全席に3点式シートベルトが装備されています。

シートベルトの取り付け、取り外し

バックルに差し込むと自動的に固定されます。

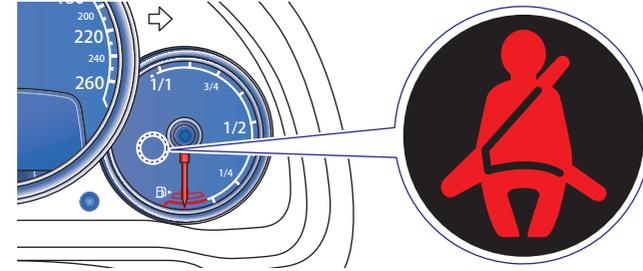


バックルのボタンを押すと外れます。



シートベルト警告灯

運転席、助手席の乗員がシートベルトを着用せずに25km/h以上で走行すると、コンビネーションメーター内の警告灯が点滅し、警告音が鳴ります。



K01415

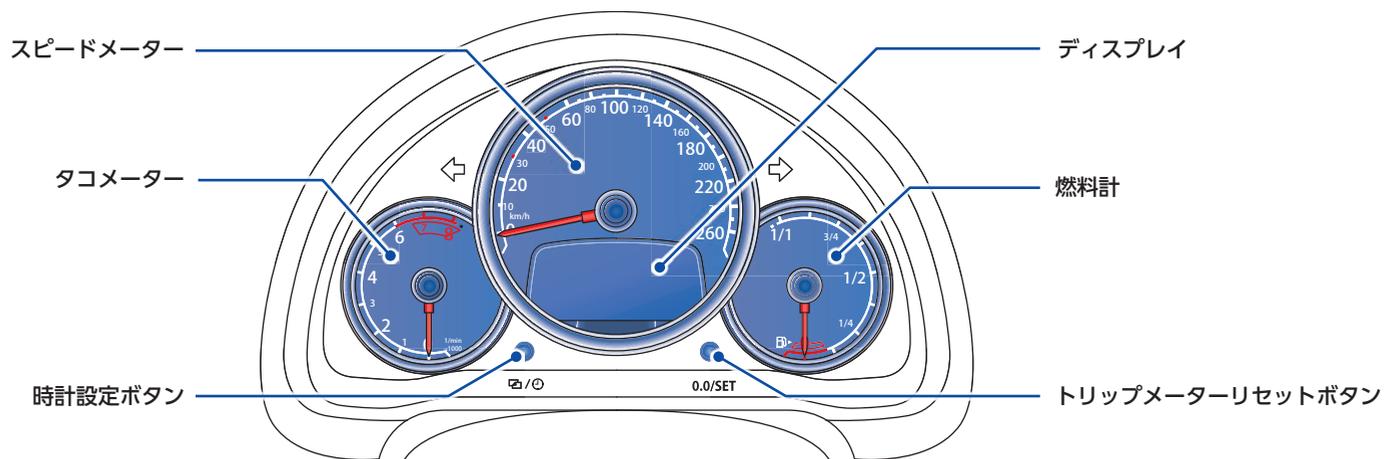
助手席の上に物が置いてある場合も、乗員がいると判断し、警告灯が点灯します。

助手席に置いてある物を別の場所に置き直すか、シートベルトで固定してください。

運転

運転する

コンビネーションメーター



K01414

時計の設定方法

操作手順

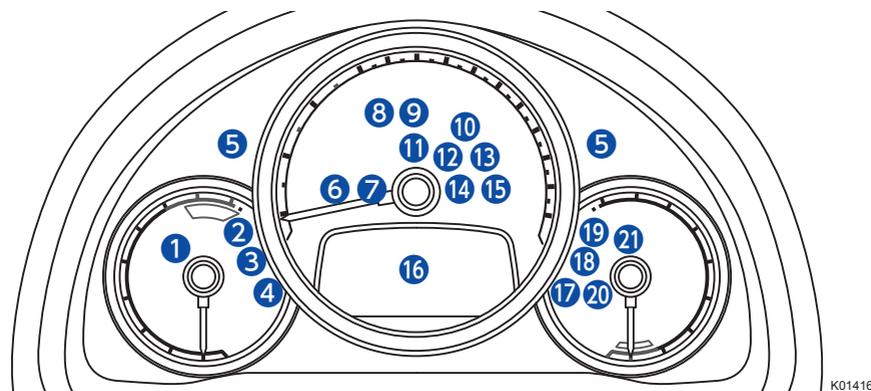
- 1 時計設定ボタンを押します。
- 2 時表示がハイライトされますので、時を変更する場合はトリップメーターリセットボタンを押して正しい時を設定してください。
- 3 もう一度時計設定ボタンを押すと、分表示がハイライトされますので、分を変更する場合はトリップメーターリセットボタンを押して正しい分を設定してください。
- 4 もう一度時計設定ボタンを押すと、時計設定が完了します。

時計はインフォテインメントシステムでも設定することができます。

走行距離表示

トリップメーターは、前回リセット以降の走行距離を表示します。トリップメーターリセットボタンを短く押すと、トリップメーターがリセットされます。

警告灯および表示灯



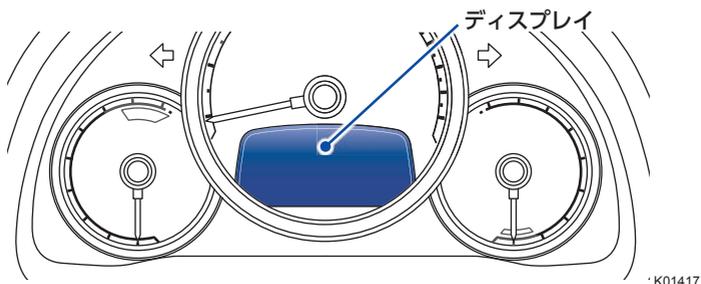
K01416

位置	シンボル	意味
1		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
2		点灯：ESC 故障、バッテリー再接続 点滅：ESC 作動中
3		点灯：排気ガス浄化システム故障 点滅：エンジン失火による触媒コンバーター損傷
4		エンジン制御システム故障
5		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
6		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
7		ABS 故障
8		リヤフォグランプ点灯
9		ハイビーム点灯
10		クルーズコントロールシステム (CCS) 作動中
11		ハンドブレーキ作動中
12		ブレーキペダルを踏んでください

位置	シンボル	意味
12		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクターレバーのロックボタンを押してください
13		ブレーキパッド摩耗
14		電動パワーステアリング故障
14		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続 点滅：ステアリングコラムロック解除不可 / ロック不可
15		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
16		ドア / テールゲート / ボンネットが開いています
16		点灯：サービスリマインダー 点滅：点検時期 セレクターレバー表示 ("D" 等) と交互に点滅：オートマチックトランスミッション故障
16		外気温度 4°C 以下
16		Start/Stop システム エンジン自動停止中
16		Start/Stop システム エンジン作動中、自動停止不可、自動再始動不可
17		点滅：エンジンオイル油圧低下
17		点灯：エンジンオイル量少 点滅：エンジンオイルシステム故障
18		充電系統故障
19		点滅：冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
20		前席シートベルト非着用
21		燃料残量少

マルチファンクションインジケータ

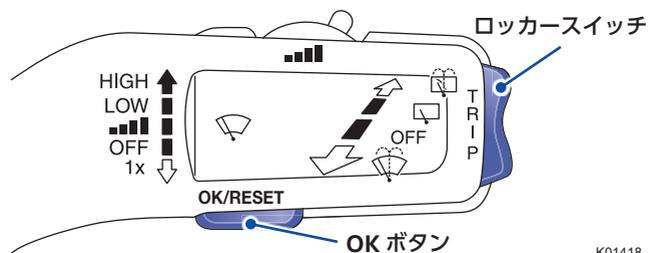
コンビネーションメーターのディスプレイで様々なドライビングデータを確認することができます。



K01417

レバーでの操作

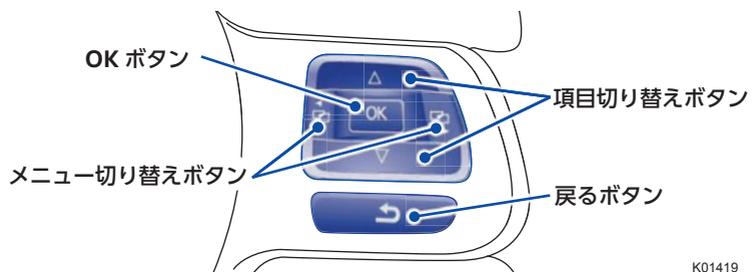
ディスプレイの表示は、ステアリングホイール右側のレバーについているロッカースイッチの上下および OK ボタンで操作します。



K01418

マルチファンクションステアリングホイールでの操作

ディスプレイの表示は、マルチファンクションステアリングホイール右側のボタンで操作します。



K01419

メニューと表示項目

メニュー	項目
MFI (マルチ ファンクション インジケータ)	Consumption (燃費) 現在の燃料消費率を表示します。
	Av. consumption (平均燃費) ※ 平均燃費を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 100m 走行後に表示されます。
	Range (走行可能距離) 残りの燃料で走行可能な距離を表示します。
	Travel time (走行時間) ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの経過時間を表示します。
	Distance (走行距離) ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの走行距離を表示します。
	Odometer (総走行距離) 車両の総走行距離を表示します。
	Average speed (平均車速) ※ 平均車速を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 100m 走行後に表示されます。
車速 現在の車速を表示します。	
Speed warning (警告速度) 警告速度の設定をすることができます。	
Oil temperature (油温) エンジンオイル温度を表示します。	
Coolant temperature (冷却水温度) 冷却水温度を表示します。	
Assistants (アシスト機能)	以下の ON/OFF を切り替えることができます。 ・Rear Traffic (リヤトラフィックアラート) ・Blind Spot (ブラインドスポットディテクション) ・Driver Alert (ドライバー疲労検知システム)
Audio (オーディオ)	オーディオシステムの取扱説明書を参照してください。
Vehicle status (Veh. status) (車両ステータス)	警告 / 情報テキストがある場合のみ表示します。

※：以下の 2 種類のメモリーがあり、OK ボタンで表示を切り替えることができます。

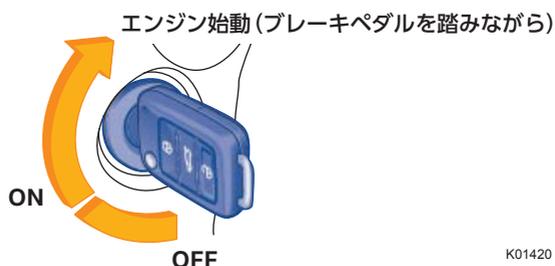
- 1(トリップジャーニーメモリー)
イグニッションスイッチを ON にしてからのデータを表示します。イグニッションスイッチ OFF 後、約 2 時間経過するとリセットされます。

- 2(トータルジャーニーメモリー)
長期間のデータを表示します。積算での走行時間が 20 時間、もしくは 100 時間、または走行距離が 2,000km、もしくは 10,000km に達する毎にリセットされます。(仕様によって異なります)

エンジンの始動・停止

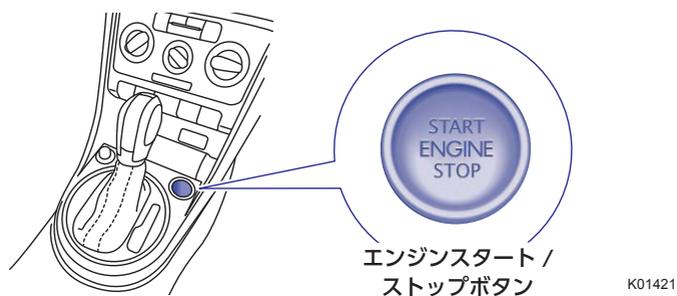
イグニッションスイッチ

ステアリングコラム右側のイグニッションスイッチでエンジンを始動・停止します。



エンジンスタート/ストップボタン

センターコンソールのエンジンスタート/ストップボタンで、エンジンを始動・停止します。

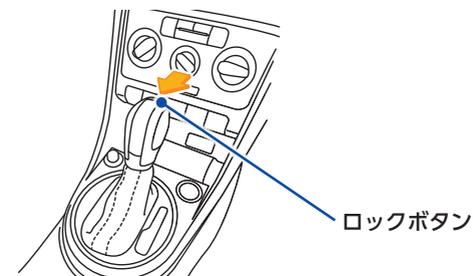


目的	操作
エンジン始動	ブレーキペダルを踏んだまま、エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。
エンジン停止	エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。
イグニッションスイッチ ON/OFF の切り替え	ブレーキペダルを踏まずに、エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。

シフト操作

セレクターレバーの操作

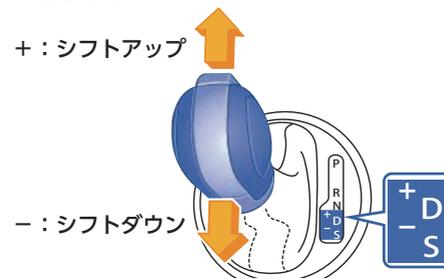
セレクターレバーを“P”の位置からシフトする場合は、ブレーキペダルを踏み、ロックボタンを押しながらシフトします。



セレクターレバーの位置	働き
P	駐車、およびエンジンを始動するとき
R	後退させるとき
N	駆動力は伝達されません
D	通常走行(オートマチックモード): ノーマルプログラム
S	通常走行(オートマチックモード): スポーツプログラム
+ -	ティプトロニック (マニュアルモード)

ティプトロニック (マニュアルモード)

セレクターレバーを“D”の位置から左側に倒すとマニュアルモードになり、思いどおりの変速段を選択して運転することができます。“+” (前方に押す) でシフトアップ、“-” (後方に引く) でシフトダウンします。



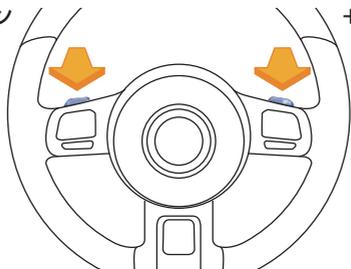
オートマチックモードに戻すには、セレクターレバーを右側に戻してください。

パドルシフト

ティプトロニックのギヤシフトをステアリングホイールのパドルレバーで操作することができます。

右側のパドルレバー“+”を手前に引くとシフトアップ、左側のパドルレバー“-”を手前に引くとシフトダウンします。

- : シフトダウン + : シフトアップ



K01424

セレクターレバーが“D”または“S”の位置にあるときにパドルレバーを操作することで、マニュアルモードに切り替えることができます。

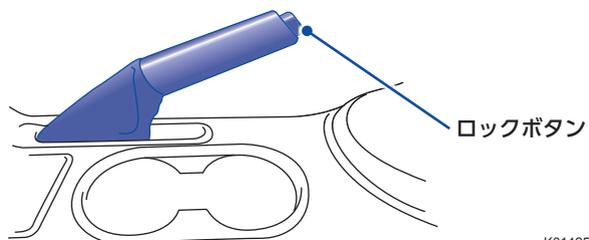
オートマチックモードに戻すには、右側のパドルレバー“+”を約1秒間、手前に引いてください。

パーキングブレーキ

ハンドブレーキ

ハンドブレーキをかけるには、ハンドブレーキレバーを上方に引き上げます。

ハンドブレーキを解除するには、ハンドブレーキレバーを少し引きながらロックボタンを押して、ハンドブレーキレバーを下ろします。



K01425

Start/Stop システム

Start/Stop システムは、信号待ちや渋滞などで停止しているとき、自動的にエンジンを停止・再始動させるシステムです。

車両を停止させたあと、ブレーキペダルを踏み続けると、エンジンが自動停止します。

自動停止中にブレーキペダルを放す、またはアクセルペダルを踏むと、エンジンが自動再始動します。

エンジンの作動状態はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。

 …… エンジン自動停止中

 …… エンジン作動中、自動停止不可、または自動停止中で自動再始動できない

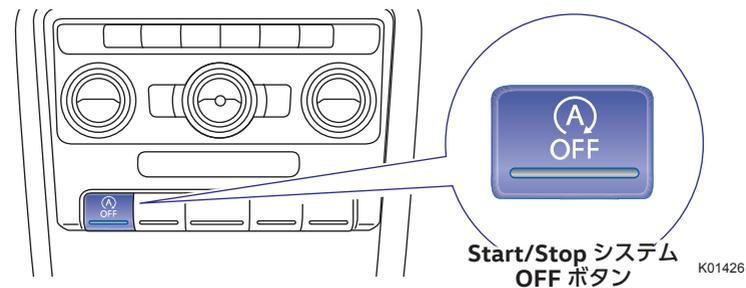
自動再始動できない場合、セレクターレバーを“P”の位置に戻してから手動でエンジンを始動してください。

自動停止・自動再始動が可能な条件の詳細は、取扱説明書の「Start/Stop システム」を参照してください。

Start/Stop システムの機能停止

Start/Stop システムの機能を停止する場合は、センターコンソール下部の Start/Stop システム OFF ボタンを押します。

OFF にするとボタンの表示灯が黄色に点灯します。

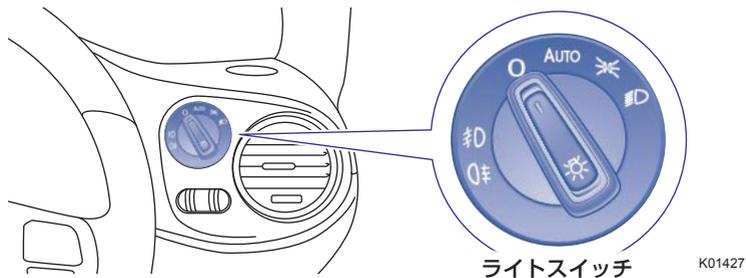


K01426

ライト

ヘッドライト

運転席右側のライトスイッチでヘッドライトを点灯します。



0 ……ヘッドライト消灯

AUTO ……周囲の明るさに応じて自動的に点灯または消灯

☽ ……スモールライト点灯

☽ ……ヘッドライト点灯（ロービーム）

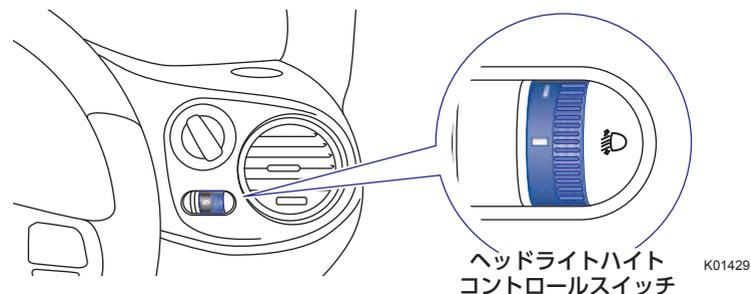
ステアリングホイール左側のレバーを前方に押しとハイビーム、元の位置に戻すとロービームになります。

レバーを手前に引いている間、ハイビームが点灯します。（パッシング）



ヘッドライトハイトコントロール

乗車人数や荷物の積載状態によって、車両は前後に傾きます。車両の状態に合わせて、ヘッドライトハイトコントロールスイッチで調整します。



調整の目安

- ……運転席、助手席に乗車、ラゲージルームに積載なし
- 1 ……4名乗車、ラゲージルームに積載なし
- 2 ……4名乗車、ラゲージルームに最大積載
- 3 ……運転席のみ乗車、ラゲージルームに最大積載

フォグランプ

ライトスイッチがAUTO、スモールライト点灯、またはヘッドライト点灯の位置でライトスイッチを手前に引くと、フォグランプを点灯します。



手前に1段階目 …… フロントフォグランプ点灯

手前に2段階目 …… リヤフォグランプ点灯

方向指示器

ステアリングホイール左側のレバーで、方向指示器を点滅させます。



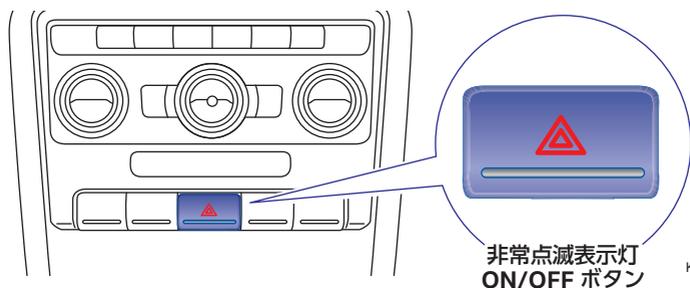
K01430

車線変更点滅機能

レバーを軽く操作すると、方向指示器が3回点滅します。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

非常点滅表示灯

センターコンソールの非常点滅表示灯 ON/OFF ボタンで非常点滅表示灯を点滅します。



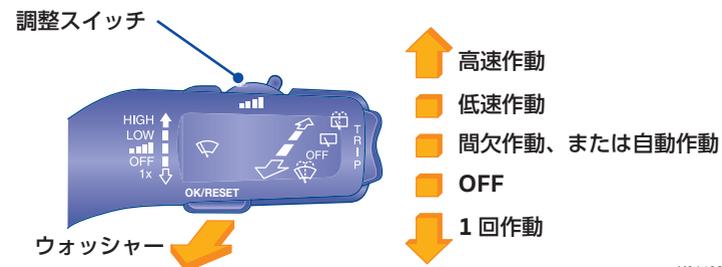
非常点滅表示灯
ON/OFF ボタン

K01431

ウィンドーワイパー、ウォッシャー

フロントワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、フロントワイパー・ウォッシャーを作動します。



K01432

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。調整スイッチで、間欠間隔、またはレインセンサーの感度を調整します。

レインセンサー装備車は、ワイパーレバーで機能の ON/OFF を切り替えたり、感度を調整することができます。

燃料の給油

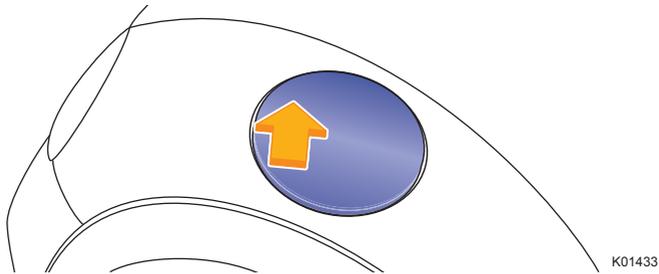
給油前に、下記の状態になっていることを確認してください。

- イグニッションスイッチが“OFF”
- セレクターレバーが“P”
- パーキングブレーキがかかっている

操作 手順

- 1 キー、またはセンターロックスイッチで車両を解錠します。
- 2 フューエルリッドを開きます。

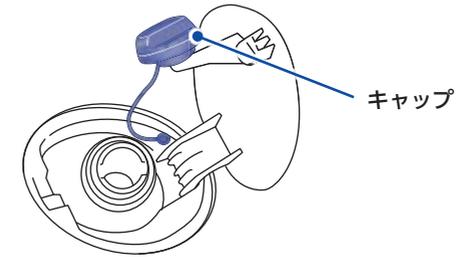
フューエルリッドは車両の右側後方にあります。
フューエルリッドの後部を押すと手前に開きます。



K01433

- 3 燃料タンクのキャップを開けます。

キャップを反時計方向に回して外し、フューエルリッドに掛けます。



K01434

- 4 給油します。

使用燃料 …………… 無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）

- 5 燃料タンクのキャップを閉めます。

キャップを「カチッ」と音がするまで時計方向に回します。

- 6 フューエルリッドを閉めます。

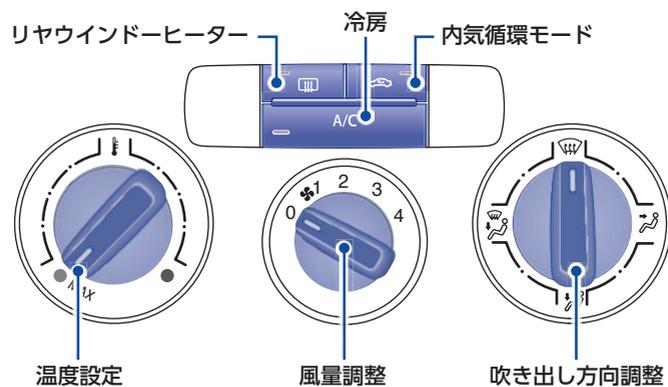
便利な機能

室内装備

マニュアルエアコンディショナー

マニュアルエアコンディショナーの操作

センターコンソールのコントロールパネルで操作します。



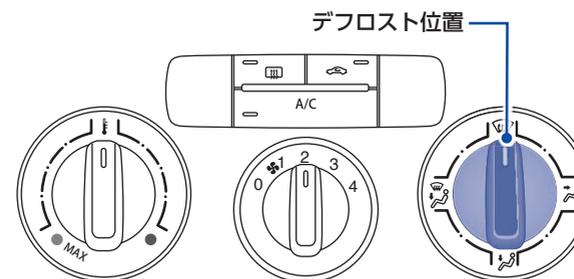
K01435

- 冷房を ON にすると、除湿もできます。車内の温度、湿度がともに高く、窓が曇っている場合は、冷房を ON にして、設定温度を上げてください。

デフロスト機能

フロントウインドーガラスの曇りを取ることができます。エア吹き出し口ダイヤルをデフロスト位置に合わせると、デフロスト機能が作動し、フロントウインドーへ送風を行います。デフロスト機能が作動すると、内気循環モードが OFF になり、冷房システムが ON になります。

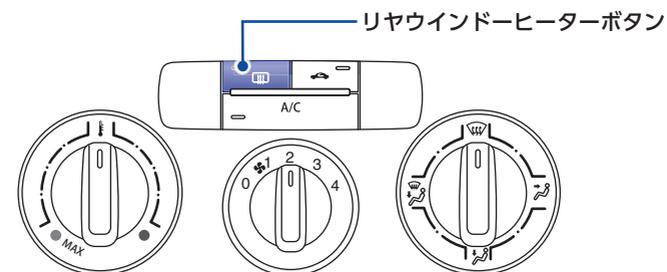
早く曇りを取りたいときは、風量調整ダイヤルを右に回して風量を多くしてください。



K01436

リヤウインドーヒーター

リヤウインドーガラスの曇りを取ることができます。リヤウインドーヒーターボタンを押すと、リヤウインドーヒーターが数分間作動します。リヤウインドーヒーターが作動すると、熱によりリヤウインドーの曇りが取れます。

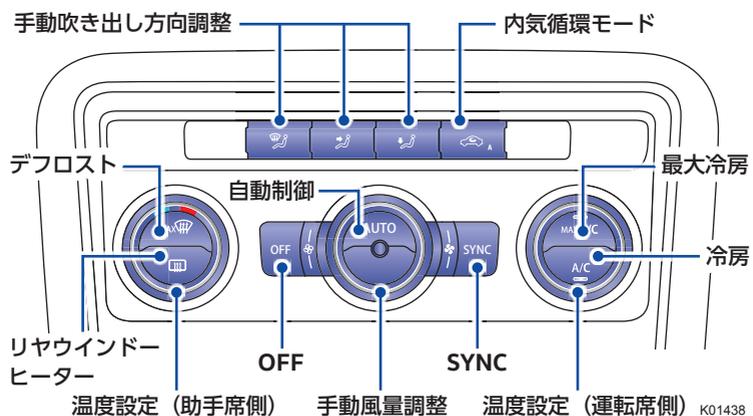


K01437

フルオートエアコンディショナー

フルオートエアコンディショナーの操作

センターコンソールのコントロールパネルで操作します。

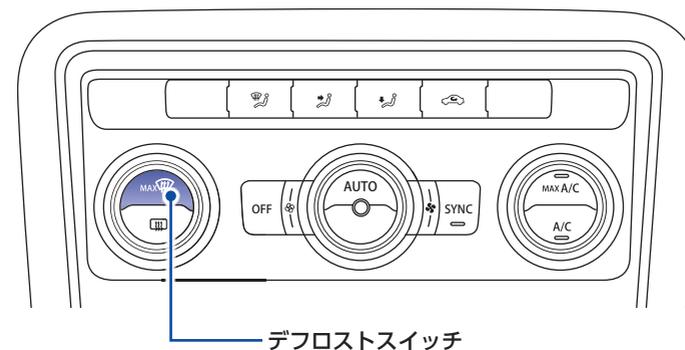


- 冷房を ON にすると、除湿もできます。車内の温度、湿度がともに高く、窓が曇っている場合は、冷房を ON にして、設定温度を上げてください。
- 自動制御を ON にすると、設定温度に応じて、風量、送風方向を自動的に制御します。手動でこれらを制御すると、自動制御は OFF になります。

デフロスト機能

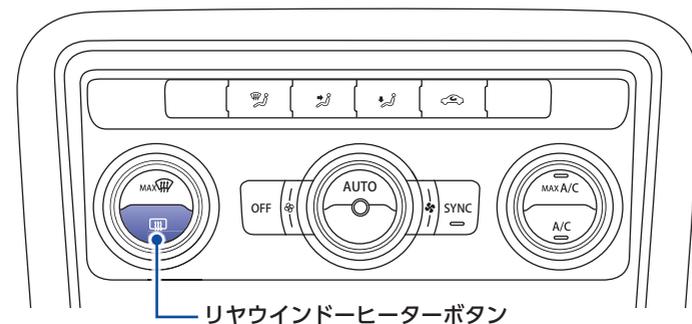
フロントウインドーガラスの曇りを取ることができます。デフロストスイッチを押すとデフロスト機能が作動し、フロントウインドーへ送風を行います。

デフロスト機能が作動すると、内気循環モードが OFF になり、吹き出し口が自動的にフロントウインドー側に設定されます。また、外気温との温度差があるときは、冷房システムが ON になります。



リヤウインドーヒーター

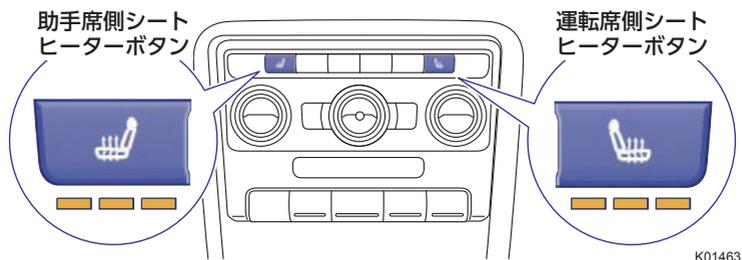
リヤウインドーガラスの曇りを取ることができます。リヤウインドーヒーターボタンを押すと、リヤウインドーヒーターが数分間作動します。リヤウインドーヒーターが作動すると、熱によりリヤウインドーの曇りが取れます。



シートヒーター

センターコンソール上部にあるシートヒーターボタンを押すと、フロントシートのヒーターが作動します。

ヒーターの強さは3段階です。ボタンを押すごとに、強（表示灯が3つ点灯）⇒中（表示灯が2つ点灯）⇒弱（表示灯が1つ点灯）⇒OFF（表示灯が消灯）の順に切り替わります。

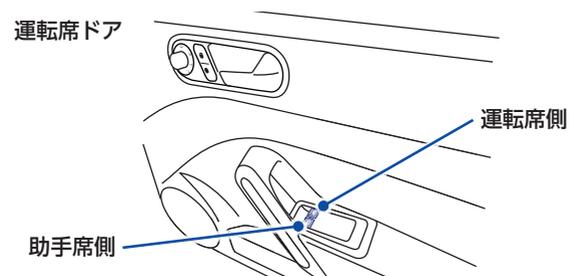


下記の状態のときは、シートヒーターをONにしないでください。

- シートに座っていないとき
- シートにカバーを装着しているとき
- シートにチャイルドシートを装着しているとき
- シート面に湿気がある、または濡れているとき
- 車内温度または外気温度が25℃以上のとき

パワーウィンドー

各ドアにあるパワーウィンドースイッチで、ウィンドーの開閉を操作します。



アドバイス

リモコンキーを使って車外から全てのウィンドーおよび電動パノラマスライディングルーフの開閉を行うことができます。

リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。

全てのウィンドーおよび電動パノラマスライディングルーフが閉まると、方向指示器が1回点滅します。

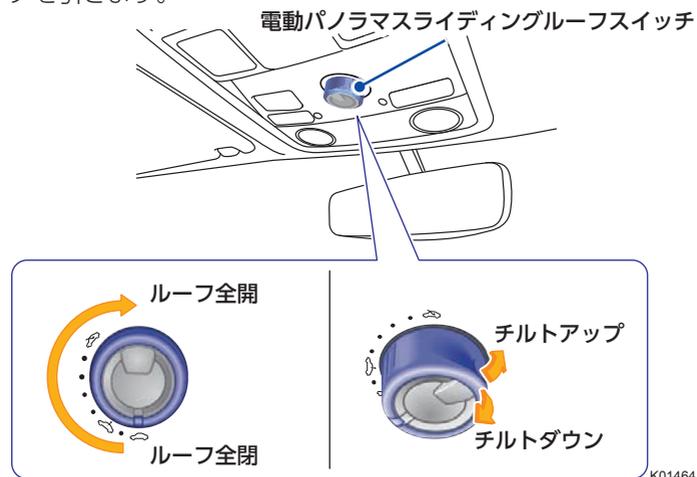
電動パノラマスライディングルーフ

電動パノラマスライディングルーフ

ルーフにあるスイッチで、電動パノラマスライディングルーフの開閉とチルト機能を操作します。

ルーフを開閉するには、お好みの位置にスイッチを回します。

チルトアップするにはスイッチを押し、チルトダウンするにはスイッチを引きます。



アドバイス

リモコンキーを使って車外から全てのウインドーおよび電動パノラマスライディングルーフの開閉を行うことができます。

リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。

全てのウインドーおよび電動パノラマスライディングルーフが閉まると、方向指示器が1回点滅します。

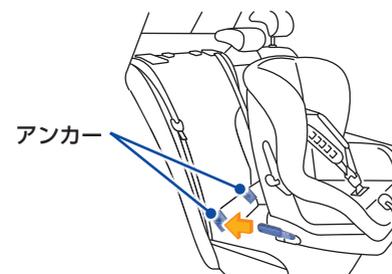
チャイルドシート

チャイルドシートを取り付ける時は、チャイルドシートの取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

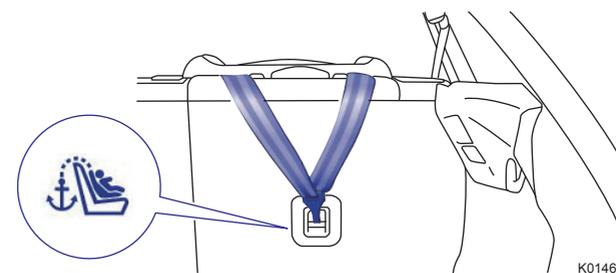
ISOFIX チャイルドシートの取り付け

後部座席には、ISOFIX に対応したチャイルドシートを取り付けることができます。

ISOFIX チャイルドシートのアームを、リヤシート座面後方のアンカーに固定します。



トップテザー固定部は、背もたれの裏側にあります。



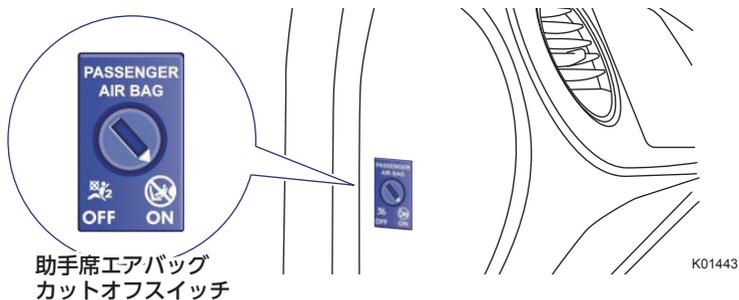
エアバッグ

運転席側フロント、助手席側フロント、前席サイドエアバッグが装備されています。

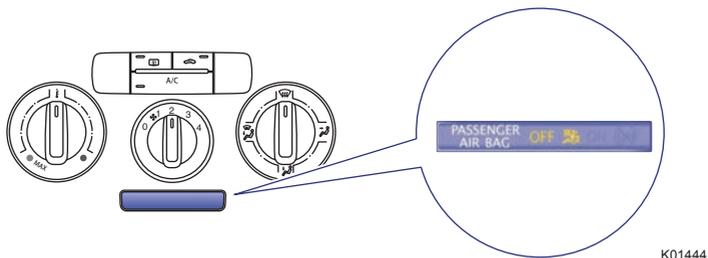
助手席側エアバッグの機能停止

後ろ向きに座るタイプのチャイルドシートを助手席に取り付けると、助手席側フロントエアバッグが作動した時に非常に危険ですので、機能を停止させてください。

助手席ドアを開け、側面の助手席エアバッグカットオフスイッチをキーを使って OFF にすると、助手席側フロントエアバッグの作動を停止することができます。

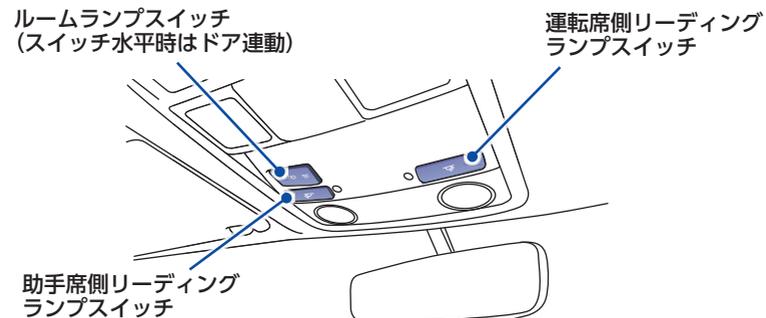


助手席側フロントエアバッグの作動を停止すると、センターコンソール上部の警告灯が点灯します。



ルームランプ、リーディングランプ

ルームランプはルームミラーの近くにありますが、ルームランプは、独立したリーディングランプとしても点灯することができます。

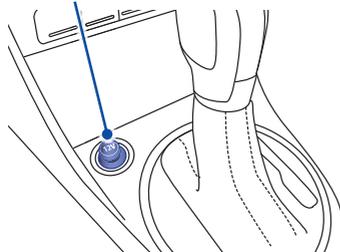


- 0 …… 常時 OFF
- ☒ …… 常時 ON
- ☒ …… ドアが開いているとき ON
- ☒ ☒ …… リーディングランプ ON

12V ソケット

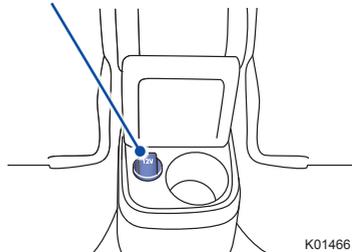
12V ソケットはフロントセンターコンソールおよびリヤセンターコンソール上にあります。
最大消費電力は 120W です。

12V ソケット



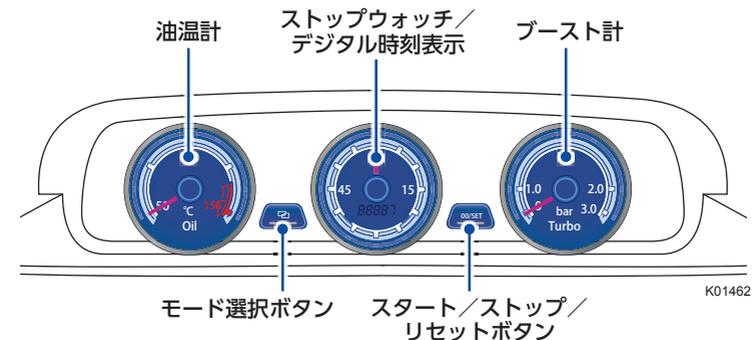
K01446

12V ソケット



K01466

アディショナルインストルメントパネル (3 連メーター)



K01462

油温計

エンジンオイルの温度を表示します。
通常走行時、エンジンが作動温度に達していると針が中央部を指します。

ストップウォッチ/デジタル時刻表示

アナログ/デジタルストップウォッチ機能を使用して、時間を測定することができます。
デジタル時刻表示としても使用できます。

ブースト計

ターボチャージャーのブーストの圧力を表示します。

モード選択ボタン

中央メーターの機能を切り替えます。
ボタンを押すごとに、ストップウォッチモード (STOP-WATCH) → 車速感応式ストップウォッチモード (TIME-SINCE-START) → デジタル時刻表示モード (CLOCK) の順に切り替えができます。

スタート/ストップ/リセットボタン

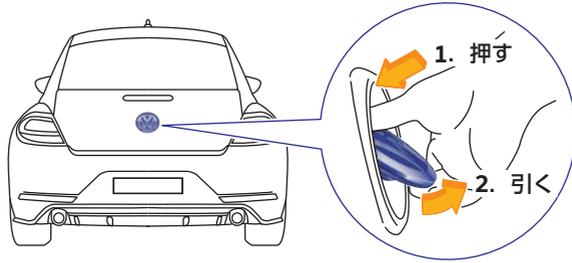
中央メーターのストップウォッチ機能を操作します。
ボタンを押すと時間測定がスタートし、再度押すとストップします。
ボタンを長押しすると、時間測定がリセットされます。
デジタル時刻表示モード選択時では、12 時間表示と 24 時間表示の切り替えができます。

荷物の積載

ラゲージルーム

テールゲートを開ける

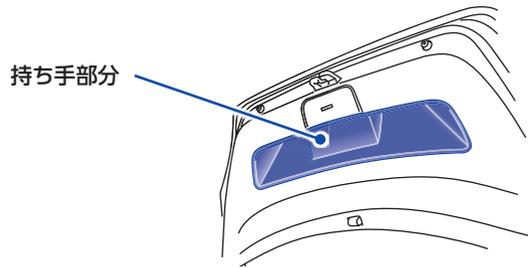
テールゲートオープナー（VW エンブレム）の上部を押して開き、下部を手前に引いてテールゲートを開きます。



K01447

テールゲートを閉める

テールゲート内側の持ち手部分を引いて、テールゲートを閉めます。

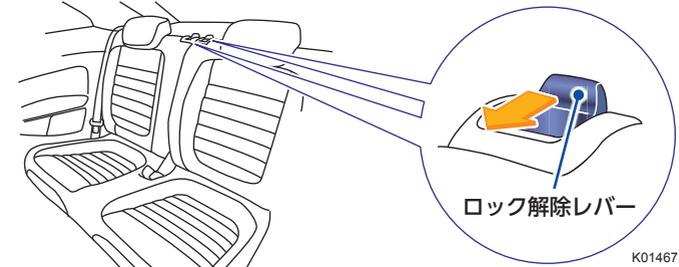


K01448

リヤシートの背もたれを倒す

分割可倒式リヤシートの背もたれを倒すことにより、ラゲージルームを広く使うことができます。

背もたれの上部にあるロック解除レバーを手前に引きながら、背もたれを前方に倒します。



K01467

リヤシートの背もたれを戻す

背もたれを元に戻すときは、背もたれを起こし、ロックされるまで後方に押し込みます。

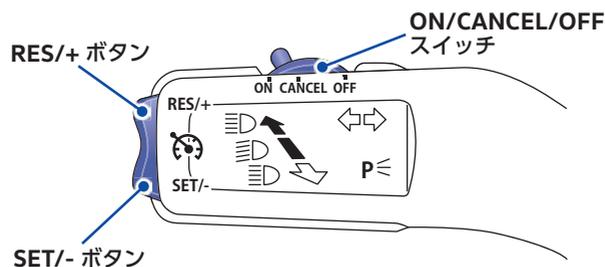
持ち手部分

運転支援

クルーズコントロールシステム "CCS"

クルーズコントロールシステムを使用すると、車速約 20km/h 以上の前進走行時、設定した車速を一定に保つことができます。

クルーズコントロールシステムは、ステアリングホイール左側のレバーのボタン/スイッチで操作します。



操作 手順

- 1 ON/CANCEL/OFF スイッチを ON 位置に動かし、システムを ON (スタンバイ状態※) にします。

※：システムが ON で、車速の自動制御が行われていない状態です。設定車速を変更することができます。

- 2 設定したい車速まで加速または減速し、SET/- ボタンを押します。

設定車速の換えかた

システム作動中は、以下の方法で設定車速を変更することができます。

- RES/+ ボタンを短く押すと、設定車速が 1km/h ずつ上がります。長く押すと、離すまで車速が継続的に上がります。
- SET/- ボタンを短く押すと、設定車速が 1km/h ずつ下がります。長く押すと、離すまで車速が継続的に下がります。

システムの一時停止のしかた

以下の方法で、システムを一時停止することができます。システムを一時停止すると、システムの作動は停止しますが設定車速は保存されます。

- ON/CANCEL/OFF スイッチを CANCEL 位置に動かす、もしくはブレーキペダルを踏みます。
- 一時的に操作を止めた後、以前設定した車速に戻すには、RES/+ ボタンを押します。

システムの停止のしかた

ON/CANCEL/OFF スイッチを OFF 位置に動かすと、システムが停止し、設定された車速が消去されます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

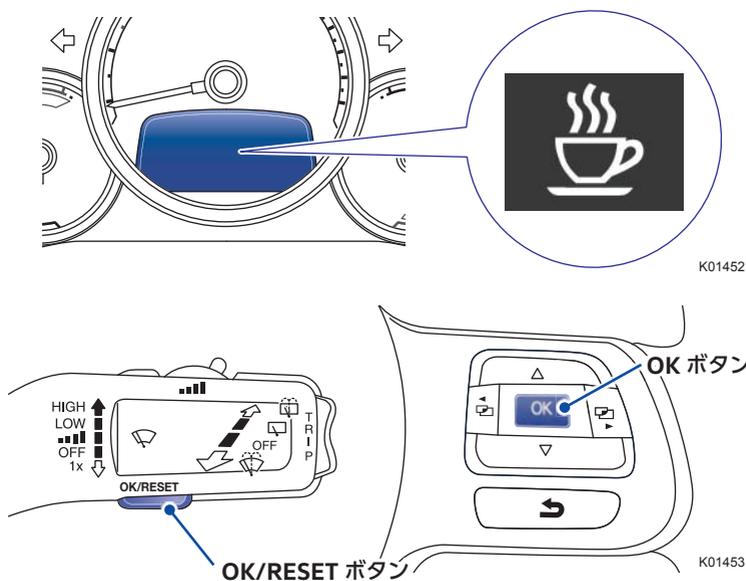
ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”

ドライバーの運転パターンをモニタリングし、疲労や眠気による急なステアリング操作など、通常の運転パターンと異なる動きを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイにメッセージを表示すると同時にブザーで休憩を促します。



運転パターンのモニタリングは、約 65km/h～約 200km/h で走行中に行われます。

コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、ウインドワイパーレバーの「OK/RESET」ボタンまたはマルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すとOFFにすることができます。



ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”の 機能停止のしかた

操作 手順

マルチファンクションステアリングホイールによる操作

- 1 マルチファンクションステアリングホイール右側のメニュー切り替えボタン を押して、「ASSISTANTS」メニューを呼び出します。
- 2 項目切り替えボタン で「Driver Alert」を選択します。
- 3 OK ボタンを押して「Driver Alert」のチェックボックス を外します。

ESC(エレクトロニック・スタビリティ・コントロール)

タイヤがスリップする危険性を減らし、走行安定性を高めます。

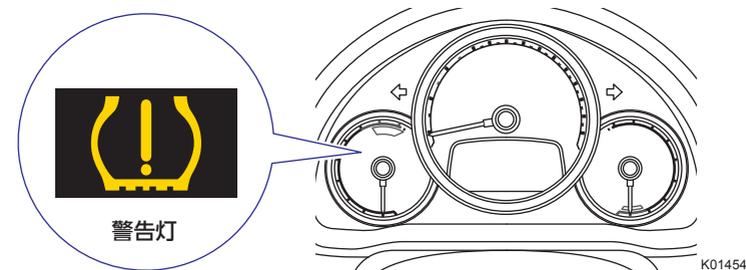
ESCには、以下の機能が組み込まれています。

- ABS (アンチロックブレーキングシステム)
ブレーキをかけたとき、車輪がロックするのを防いで車両の操縦安定性を確保します。
- BAS (ブレーキアシストシステム)
ドライバーが急ブレーキなどでブレーキペダルを早く踏み込んだとき、ブレーキ圧を高めることで短い距離で停車することを補助します。
- ASR (トラクションコントロールシステム)
発進時や加速時のホイールの空転を抑え、安定した加速を補助します。
- XDS (エレクトロニックディファレンシャルロックシステム)
直進中、空転した駆動輪にブレーキをかけ、他の駆動輪に出力を伝達します。
高速カーブ走行時、内側の前輪にブレーキをかけて空転を防ぎ、車両の操縦安定性を確保します。

タイヤモニタリングシステム

パンクのおそれがあるときなどに警告灯を点灯させてお知らせします。

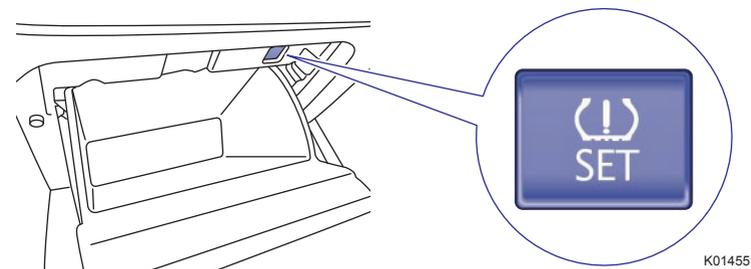
警告灯が点灯したときはすみやかに安全な場所に停車し、4輪のタイヤ空気圧を点検してください。



タイヤモニタリングシステムの設定のしかた

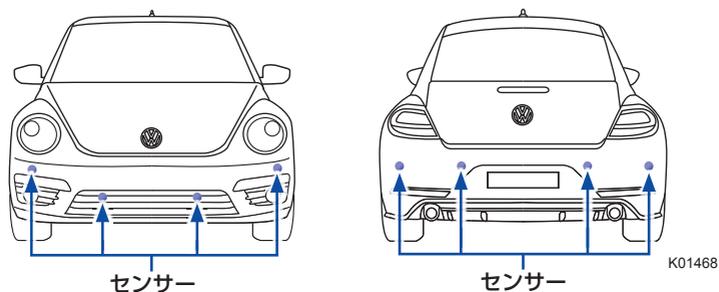
タイヤ空気圧を調整したり、タイヤまたはホイールを交換したときは、システムを正しく作動させるため、タイヤモニタリングシステムを設定しなおしてください。

グローブボックス内のタイヤモニタリングシステムリセットスイッチを、確認音が鳴るまで押し、現在のタイヤ空気圧を基準値としてタイヤモニタリングシステムを設定することができます。



パークディスタンスコントロール

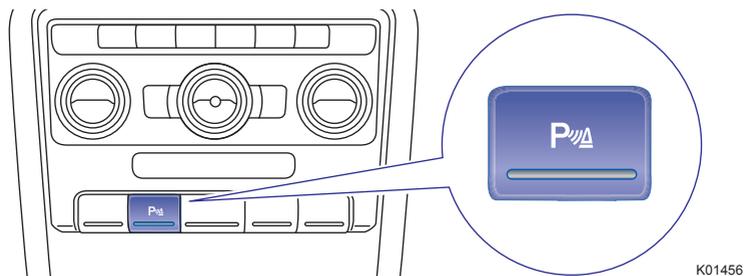
フロントバンパーおよびリヤバンパーに取り付けられたセンサーによって、障害物への接近を知らせることでドライバーを支援するシステムです。



以下のときに作動します。

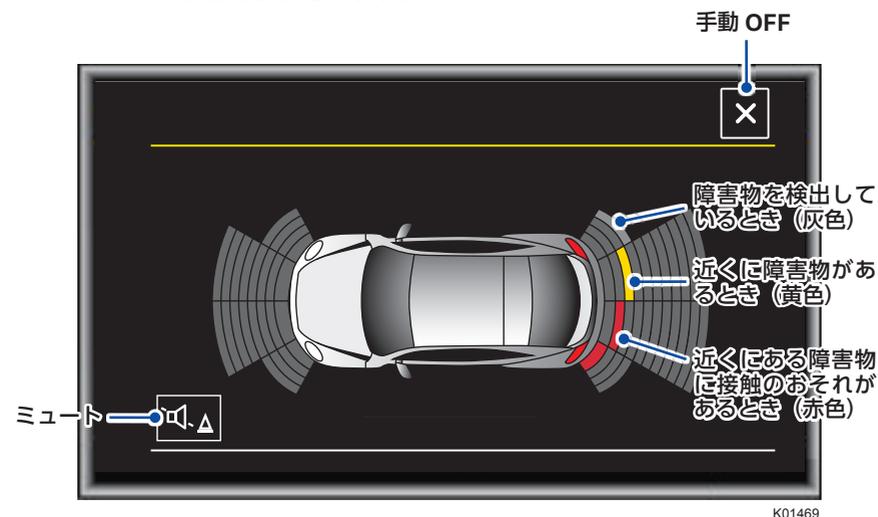
- セレクターレバーを“R”の位置にしたとき
- 前方に障害物がある場合に、約 10～15km/h 未満で接近したとき

また、センターコンソール上部のボタンを押すと、手動で機能の ON/OFF を切り替えることができます。



障害物に近づくとピッピッピッピッという警告音が鳴り、インフォテイメントシステムのディスプレイに黄色い表示がおおよその距離と角度で表示されます。

さらに障害物に近づくと、ピーという警告音が鳴り続け、ディスプレイには赤色で表示されます。



K01469

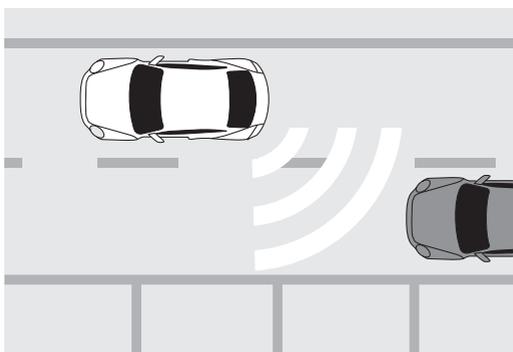
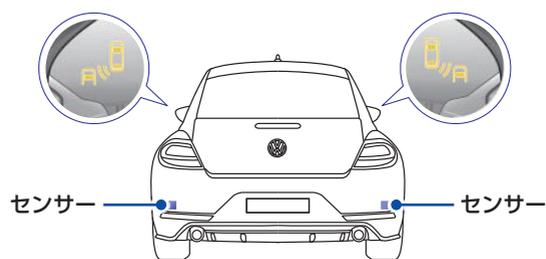
アドバイス

機能が ON になるとボタンの表示灯が点灯し、機能が OFF になるとボタンの表示灯は消灯します。

ブラインドスポットディテクション (後方死角検知機能)

ブラインドスポットディテクションは、リヤバンパーに取り付けられたレーダーセンサーにより車両の後方約 20 メートルの範囲および左右の死角範囲をモニタリングし、後方から接近してくる車両を検知すると、ドアミラーガラスの表示灯を点灯させてドライバーに注意を促します。

この機能は、車速が 15km/h 以上で作動します。



ブラインドスポットディテクション (後方死角検知機能) の機能停止のしかた

操作 手順

マルチファンクションステアリングホイールによる操作

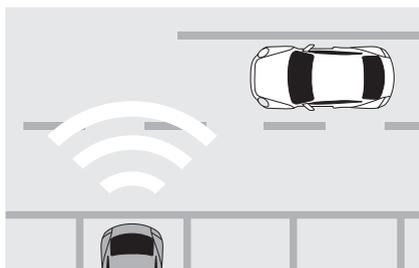
- 1 マルチファンクションステアリングホイール右側のメニュー切り替えボタン を押して、「ASSISTANTS」メニューを呼び出します。
- 2 項目切り替えボタン で「Blind Spot」を選択します。
- 3 OK ボタンを押して「Blind Spot」のチェックボックス を外します。

アドバイス

機能を ON にするときは、チェックボックスに を入れます。

リヤトラフィックアラート (後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能)

リヤトラフィックアラートは、リヤバンパーに取り付けられたレーダーセンサーにより後方を横切る車両をモニタリングし、駐車場から後退で発進する際、衝突の危険性を検知すると、警告音でドライバーに注意を促します。警告を促してもドライバーが車両を停止せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的にブレーキを作動させます。この機能は、後退時 12km/h 以下で作動します。



リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能） の機能停止のしかた

操作 手順

マルチファンクションステアリングホイールによる操作

- 1 マルチファンクションステアリングホイール右側のメニュー切り替えボタン   を押して、「ASSISTANTS」メニューを呼び出します。
- 2 項目切り替えボタン   で「Rear Traffic」を選択します。
- 3 OK ボタンを押して「Rear Traffic」のチェックボックス を外します。

アドバイス

機能を ON にするときは、チェックボックスに を入れます。

フォルクスワーゲン車は、全車種／モデルにおいて日々開発が進められ、進化を遂げています。このため、各車両における装備、仕様、技術に関する内容について随時変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。本書での車両の装備、外観、性能、寸法、車重、消費電力、規格、機能に関する記述はすべて、編集時点での内容となります。一部、本書の発行時点では未導入となる仕様、または特定の国にのみ供給される仕様があります。このような理由による記載内容、図等の違いについては、あらかじめご了承ください。

本書の複製、コピー、翻訳は、その一部であっても、書面によるフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社の承認がない限り許可されません。

すべての著作権はフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社に帰属します。本書は予告なく改訂される場合があります。

Printed in Japan



本書は、無塩素漂白パルプを使用しています。

発行：2017年7月
印刷：2017年7月
発行番号：181.5J2.B5C.70